

2022年度 【 但馬 】ブロック活動報告

ブロック代表氏名（ 陣在 恭子 ）

■活動目標

1. 但馬地区訪問看護ステーション間の連携強化を図る。
2. ニーズに即した研修会を企画し、訪問看護の質の向上を図る。
3. 但馬圏域で開催される在宅ケア関連の会議に参加する事で多職種連携を強め、在宅ケア・サービスの向上を図る。

■活動内容

1. 定例連絡会（管理者・役員会）

回	開催年月日	主な討議事項	出席者数
1	2022年6月14日	管理者会議：研修会について、連絡網について、健康福祉事務所からの連絡等	13名
2	2022年7月19日	管理者会議：研修会について、健康福祉事務所からの連絡、会費の領収書について等	13名
3	2022年8月31日	三役会議：管理者開示の内容について打ち合わせ	13名
4	2022年9月13日	管理者会議：研修会について、感染拡大時のステーション間の応援体制について、健康福祉事務所からの連絡、コロナ対応についての情報共有	14名
5	2022年10月21日	三役・理事会議：活動目標の設定について、研修会の打ち合わせ	3名
6	2022年12月13日	管理者会議：研修会の振り返り、アンケート結果、県理事の任期について、コロナ対応についての情報共有	14名
7	2023年2月14日	管理者会議、2023年度総会について、2023年度研修計画について	14名

2. 総会

日時	場所	報告・審議事項	参加者数
2022年6月14日	日高健康福祉センター	2021年度事業報告・会計報告、2022年度事業計画案・会計予算案の審議、DNARプロトコルについて	13名

3. 研修会

1) ブロック独自研修

研修会名	開催年月日	場所	講師	参加者数
訪問看護師のための心不全緩和ケア	2022年11月12日	このとり但馬空港多目的ホール、Web	竹原 歩 山本 大祐	会場33名 +WEB39名

2) その他研修会

研修会名	開催年月日	場所	講師	参加者数
医療関係者に知って欲しい鬱病の基礎知識 上川北部医療連携推進機構のICTに関する取り組みについて	2022年12月3日	Web	三木 宏隆 佐古 和廣	
コミュニティデザインラボの実践～地域でつながる導線とは～	2023年1月21日	じばさん TAJIMA Web	松崎 亮	
超少子高齢化社会佐渡の社会保障課題と取り組み	2023年2月25日	じばさん TAJIMA Web	佐藤賢治	

4. 交流会 なし

5. 地域の関連機関との連携及び会議等の出席に関する事項

会議名	開催年月日	場所	出席者氏名
朝来の介護と医療を考える会	毎月第3木曜日	Web	小谷、藤本
地域ケア会議（香美町）	奇数月の第3水曜日		春和
養父市大屋町実務者会議	毎月第1月曜日		坂本
地域ケア会議（新温泉町）第1回在宅医療介護連携会議	2022年7月6日	新温泉町サンシーホール2階研修室	丸毛
介護職員等によるたん吸引のフォローアップ研修	2022年7月26日	豊岡健康福祉事務所	松田、大岸、沖村
	2022年7月27日	和田山庁舎	藤井
第1回豊岡市医療介護推進協議会	2022年8月4日	Web	松田
精神障害者地域移行・地域定着推進協議会	2022年8月8日	養父市社会福祉協議会2階会議室	藤本
朝来市障害者自立支援協議会専門部会 重度心身障害児（者）入浴検討部会	2022年8月31日、 11月16日、 2023年3月15日	朝来市役所西館201会議室	藤本
豊岡市在宅医療介護連携推進協議会	2022年9月7日	豊岡市医師会会議室	松田
令和4年度但馬圏域ALS家族医療相談・交流会	2022年10月14日	豊岡健康福祉事務所	加藤
地域ケア会議	隔月第3水曜日	香美町役場本庁	春和
令和4年第2回但馬圏域地域健康福祉推進協議会（医療部会）（但馬圏域地域医療構想調整会議）ならびに第2回但馬圏域医療機関等連絡会議	2022年11月17日	日高地区コミュニティセンター	西崎、小谷、藤本、小畑、沖村、陣在
豊岡市在宅医療介護連携推進協議会役員会	2023年2月17日	豊岡市医師会会議室	松田
精神障害者地域移行・地域定着推進協議会	2023年3月9日	但馬長寿の郷 第3.4研修室	藤本
第2回豊岡市在宅医療介護連携推進協議会	2023年3月10日	豊岡医師会会議室	松田
精神科訪問看護対応ステーションおよび健康福祉事務所連絡会	2023年3月17日		藤本、久保田、林、丸毛、前田、坂本、小谷

6. その他の報告内容 なし

■活動の評価

1. 新型コロナウイルス感染症予防の為2022年度もZOOM会議が主となった。それにより遠方のステーションも会議に参加しやすく時間調整も容易になった。新しいステーションの入会もあったが、管理者間での連携もスムーズにできた。しかし交流会が開催できず集合形式の研修会が減少。各ステーション会員同士の交流が持ちにくい事が課題となった。
2. 会員からの希望が多かった「慢性心不全の緩和ケア」についての研修会を開催した。講義後のグループワークでは、それぞれの症例について活発な検討をすることができた。慢性心不全の症例が多くみられるなか、早速実践に生かす事ができる研修の開催であった。ただ、新型コロナの感染予防の観点からハイブリッドの研修になった事と年1回のみ開催に終わった事は今後検討が必要と考える。
3. 在宅ケア及び地域ケア会議へ積極的に参加できており、年々その頻度は多くなってきている。初めて但馬全体の「医療部会」に参加要請があり出席した。今後も地域医療連携の要となれるよう研鑽を怠らず、積極的に会議等に参加し活発な意見交換を行っていきたい。